

PARTY

第3回全体研修会

行政・さいたま市介護支援専門員協会 合同研修会

開催日時 平成22年3月20日(土) 13時30分～17時00分
開催場所 与野本町コミュニティセンター 多目的ホール

第1部 「平成22年度の介護保険事業について」

急に暖かくなり、ぼかぼか陽気の中、「平成22年度の介護保険事業について」さいたま市保健福祉局福祉部介護保険課 課長補佐 佐藤崇之氏より、平成21年5月さいたま市長選挙において、市政運営の基本的な考え方、マニフェスト「さいたま市民 しあわせ倍増計画」の中から、高齢者が安心して長生きできる街づくりについて、現在の状況などのお話があり、私たち、介護支援専門員の業務にかかわる情報提供をいただいた。

今後、急速に高齢化率が上昇するさいたま市において、4月から、介護する人の支援体制を充実する事ができるように、浦和区に地域包括支援センターを増設し、相談対応時間を年中無休(年末年始を除く)に拡大し、対応できる体制を整えた。

一人暮らしの高齢者や高齢者世帯に対して、現在まで週4回だった配食サービスを、週5回、実施できるように取り組んでいることなど、ご説明をいただいた。

介護保険制度も社会に浸透し、利用者が年々多くなる現在、個々に抱える介護の問題を利用者の心身の状態、生活歴・介護者の家族的環境などから、社会的資源も活用し、自分らしく長く住み慣れたさいたま市で安心して暮せるように、ケアプランを作成する業務に就いている私たちも、高齢者が安心・安全を感じ、健康維持できるように積極的に今後も行政と情報交換を行いたいと感じた。

第2部 「ストレスマネジメントとモチベーションアップの技術」

第3回全体研修会は、ケアタウン総合研究所 高室成幸氏を講師としてお招きし「メンタルマネジメント」(ストレスケアとモチベーションアップ)という演題で講演会を行った。

眩しい日差しのもと、3連休の初日にもかかわらず、日々私たち介護支援専門員の研修に携わっていただいている高室氏の研修ということで、多数の会員の



Vol,19

2010年春号

方の出席をいただいた。

高室氏は、介護支援専門員の現任研修・地域包括支援センター職員研修・主任介護支援専門員研修・施設管理者研修など多くの研修の講師を担当された経験から、たくさんのケアプランを点検されている。

今回、私たちケアマネジャーが陥っている?!自己満足な表現、四文字熟語のケアプランについて、介護を受けている人の希望、やりたいこと、その人らしく暮らしたいという個別の様子が組み込まれているのか?介護している人の本気の気持ちを表現しているのか?ケアプラン1表から3表まで、本当に利用者の姿が現れているのか?と、自分たちの立てているケアプランを瞬時に指摘していただき、多くの参加者から大きなうなずき・ため息の中、講演会がスタートした。

介護保険が社会に浸透して10年が経過し、質の向上が求められる現在、なぜ曖昧な目標・専門用語の羅列などになっているのか・・・プランを作成する際、一人で利用者の全てを抱え込み、事業所単位で契約しているのに、他のケアマネジャーとプランを共有し点検して、お互いのプランの傾向を客観的に分析できていない事実に気付かせていただいた。

ケアの仕事の特徴といわれる、肉体労働・頭脳労働・感情労働が重なり、中でも感情労働のためのストレス、ケアマネジャーの仕事のストレス、職業上の善意と人格の混同・良い人を演じるストレス、ケアマネジャーの燃え尽き症候群、燃え尽きないために、自己成長できるモチベーションマネジメントについて、発問形式で参加者からの現状を実際の言葉で確認し合う、楽しい講演会となった。

介護保険が社会に浸透し、わずか10年で世の中に認められる職業になったことを誇りに感じ、充実した毎日を送れるように、今後も自分を認めながら仕事の改善・向上を目的に、この仕事を継続したいと考える事ができた有意義な研修だった。



南区ケアマネサロン

インターネット面接時について

開催日時 平成22年1月15日(金) 15時00分～17時00分
開催場所 さいたま市文化センター 第一集会所

今回の南区ケアマネサロンでは、「インターネット面接」をテーマとして、それぞれの方が、日ごろ留意している事や、失敗した事など中心に意見交換を行った。参加者はケアマネジャー11名であった。

初回の面接で留意する事として、「ご利用者も緊張している事に配慮する」「ご利用者の性格を知るよう注意を向ける」「聞かれた事などにすぐ応答できるように心掛ける」「希望や聞き易い質問を通じて、信頼関係をまぎ築く」など、それぞれの留意点を持って初回面接に臨んでいた。

また、初回の面接で行う事の多い、アセスメントについて話が及んだ。アセスメントを行う方法としては、「書式に沿って事務的に進める」「他職種と一緒に聴取」「会話から書式に書き込む」「状況を見て必要な事を質問していく」など。初回の訪問にかける時間としては、1時間半位の方が多かった。その中でまず確認する事は、家族健康状態、経済状況、どれくらい在宅が可能と思っているか、どういう自分になりたいか、など。緊急連絡先や対応方法は、共通して確認するところであった。

失敗談や難しい事として、「うつ病治療を受けている事を後に知り、ご利用者が中々言い出しにくい所が初めにあったと反省した」「医療的な面



接になりがち」「経済的な事は聞きにくい」「同居者の急変時、家族と関わっていなかったため苦労した」など。

初回の訪問で準備していくものとしては、契約届出書類、アセスメント書式、介護保険資料、名刺や自社パンフレットなど。その他に、看護サマリーや認定資料などもあれば良いという話があった。

普段、皆さんの仕事方法や、心がけている事について、改めて話を聞く機会は少なく、日常業務の中では得られない大変貴重な場となった。

最後に、「ケアプラン点検」について、点検を受けた役員から報告がなされた。指導内容をもとに、ケアプラン作成にあたり注意する点について情報共有する事ができた。

大宮区ケアマネサロン

どう支える? 老老介護・認認介護

開催日時 平成22年1月28日(木)
開催場所 さいたま市在宅ケアサービスケア公社



平成22年1月28日(木) さいたま市在宅ケアサービス公社にて「どう支える?」老老介護・認認介護」をテーマに開催した。

参加者は9名と少なかったが、和気あいあいとした意見交換となった。

増加する高齢者世帯、認知症高齢者、さいたま市の現状を踏まえ、現場の悩みや事例を通しての活発な意見が交わされた。大宮区は独居の高齢者や高齢者世帯も多く、家族、地域の力と協力して見守っていかたいのでは・・・理想と現実のはざままで日々悩むケアマネジャーの私たちですが、答えは見つからないけれど仲間との会話の中でちよっぴり癒されたひとときだった。

桜区・中央区ケアマネサロン

第1部 統合失調症について 第2部 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律について

日常の対応や緊急時の対処、利用できる制度、ケアマネとして知っておきたいことなどについて質疑応答を交えて意見交換

開催日時 平成22年2月13日(土) 13時30分～15時30分
開催場所 特別養護老人ホーム さいたまロイヤルの園会議室
参加者 18名

第1部

医療法人恵仁会与野中央病院 看護師長 井上純子氏をお迎えし、統合失調症を中心に講義をしていただいた。ビデオ鑑賞を含め、疾患の理解、経過、予後、接し方のポイントなどを事例やエピソードを含めて伺った。回復された患者の生の映像を見たり、声を聞いたりすることにより、統合失調症が身近に感じられた。

「統合失調症」に病名が変わってから告知がしやすくなったこと、特別な病気ではなく、副作用の少ない新薬の登場により治療しやすくなってきたことなどを知らることができた。

第2部

ケアマネジャーとしてぜひ知っておきたいと思われる精神保健福祉法、精神障害者保健福祉手帳についてお話を伺った。参加者は「利用者のケアプランを遂行していく上で家族の精神疾患に対する対応は避けて通れません。良い対応策ができれば」と希望していた。

例えば「閉じこもりの方へのサービスはどのようなしたら良いか」の質問へは「薬の調節をしてみる。この病気の人は他



人に対する恐怖心があり、集団行動が不得意な場合が多い。先ず散歩やコンビニの買い物に連れ出すことから始めてはどうか」「注意妄想がある方もいるので無理に目を合わせようとしない」「挨拶が重荷になることがある」などのアドバイスを受けた。

長く精神疾患に向き合ってきた井上氏の現場での苦労や精神疾患の看護に力を注いできた様子、意気込みが随所に感じられるお話だった。また、与野中央病院ではアルコール依存症に大きな治療効果を上げており、相談窓口としても活用が期待される。

西区・北区ケアマネサロン

地域のデイケアの特徴をきちんと知っておこう！

開催日時 平成22年2月19日(金) 13時30分～15時00分
開催場所 プラザノース(セミナールーム6)

今回で最後となる西区・北区合同ケアマネサロンは、介護事業所との交流会として、地域のデイケアの特徴をよく知り、より一層の連携を図るため、デイケアの相談員をお招きし、それぞれの事業所の特徴など、細かい点まで紹介していただいた。

当日は、デイケア事業所が4事業所、ケアマネは20名の参加があった。中には新人ケアマネも数名見られ、少し緊張した雰囲気の中、進行された。

紹介していただいたデイケアの主な特徴として、①デイケア専門の医師がいる。②言語療法士が常勤でいる。③利用時間の延長は19時まで対応可能。④ひのき風呂でゆったり入浴できる。⑤栄養士による状態に合わせた食事と栄養管理をしている。⑥訪問リハ、通所リハ、ショートステイリハビリとの連携でハビリ強化されている。などなど、利用者の様々なニーズに対応できるデイケアが増えていることがよく分かった。

その後のケアマネからの質問コーナーでは、より具体的な内容の質問が多く目立っていた。例えば、①帰宅願望がある利用者へは、どのように対応しているのか? ②利用者の急変時の対応は? ③トレーニングマシンの種類と利用状況について知りたい。④畳のスペースでゆっくりくつろげるデイケアはあるのか? ⑤空き情報について知りたい。などなど、ケアマネからの質問に、相談員は一つ一つ



丁寧に答えていただき、それぞれの事業所の熱意が感じられた。

質疑応答の時間が多く設けられたことから、新人ケアマネにはもちろんのこと、参加したケアマネにも、とても役立つ内容であり、また、デイケアにとっても、ケアマネの求めているものを理解するよい機会となったと思われる。

今期最後のサロンであったが、利用者への情報提供や、利用者それぞれのニーズに合ったケアプラン作成につながるよい交流会となった。ケアマネにとって、他事業所、行政、包括、地域との連携はとても重要であるが、今後もサロンの活動が、他職種との連携が密になる場となるよう、頑張っていきたい。

見沼区ケアマネサロン

「介護保険外のサービス利用について」

〔各介護支援専門員が持っているネットワークの共有〕

開催日時 平成22年3月4日(木)

15時00分～16時00分

開催場所 見沼区役所 B3会議室

今回は「介護保険外のサービス利用」テーマに、それぞれの介護支援専門員が持っているネットワークを共有し、介護支援専門員の質の向上、今後のサービスに活かせていければと考えた。

アドバイザーとして、見沼区圏域の地域包括支援センターの職員の方にも同席していただき、事例をもとに活発な意見が交わされた。

意見の中で、独居の身体不自由なご利用者に対しての関わり方、ボランティア(有料・無料)について、車いすでの受診ができる歯科、往診医に関する情報が欲しい、訪問看護24時間体制の事業所について、時間外での地域包括支援センターとの連絡のとり方などについての質問があった。

地域包括支援センターからは、ボランティアの一覧、訪問医の一覧、困難ケースの対応と地域包括支援センターとの関わり方(相談、同行訪問など)についてのお話をいただいた。



岩槻区ケアマネサロン

医療と介護の連携

開催日時 平成22年3月10日 19時00分～20時00分

開催場所 岩槻駅東口コミュニティセンター

細田医院の千葉敦司氏をお迎えし「医療と介護の連携」についてお話していただいた。

岩槻区単独のサロンとしては過去最高の人数25名の参加があった。

千葉氏が在宅医療に取り組みようになったのは、都内で訪問診療を専門とする診療所の所長に就任されてからで、最初は戸惑いがあったが、患者さんの生活を直接見ることができ、介護の様子がわかる、家族の苦勞が共有できる、それらを治療方針に反映することにより、より良い医療を提供できる。

勤務先は急性期の病院が1ヶ所、診療所が6ヶ所(全て24時間対応の在宅療養支援診療所)、訪問看護ステーションが4ヶ所、関連法人内に居宅介護支援事業所、ヘルパーステーション、グループホームなどがあり、連携のとりやすい環境で、法人外の医療機関、訪問看護ステーション、ケアマネジャーとの関係も良好だったとのこと。

しかし、「岩槻区は訪問診療を行う医師の数が足りない状況で、主治医との連携も取りにくいのが実情」 「地域の少数の医師が在宅医療に興味を示し、行動に移せばその地域の在宅医療は劇的に変化する」と千葉氏は言う。

在宅療養とは「患者を中心に、家

族、医者、訪問看護、ヘルパー、そしてケアマネジャーなどの多職種との連携が大事な場所での療養ができ、患者さんが好きな場所で療養ができるようにサポートすることができ、最期を安らかに迎えることができるようにサポートすることができ、在宅医療である」と静かな口調の中に在宅医療に向ける情熱を感じた。

丁寧な質問に答えてくださり、時々冗談を交えながらのあつと言った。最後に「ケアマネジャーはプロフェッショナルである。もっと自信を持って医師と接してください」と、私達に嬉しいエールを送ってくださいました。



浦和区、南区、緑区合同ケアマネサロン

ケアプラン点検のポイント (分析表編)

開催日時 平成22年3月11日(木)

13時30分～16時00分

開催場所 浦和コミュニティセンター

第13集会室

今回の合同ケアマネサロンでは、昨年3月にご講義いただいた、明治安田システムテクノロジ(株)ウエルネスケア・ビジネスアカデミー秋林氏により「介護給付費適正化計画に基づくケアプラン点検の実施」についてのお話をいただいた。本日は、前回のお話にあった「計画書編」の続きで、「分析表編」をテーマに、保険者に通達された「ケアプラン点検支援マニュアル」に沿ったアセスメントをする上での留意点等を、詳しくご講義いただいた。

アセスメントをする上で留意する事は、厚生労働省が定めた項目を単に把握するだけではなく、ストレングスを生かす視点を持つことがポイントであるという事。

「ケアプラン点検支援マニュアル」には、23の質問が記載されており、その一つ一つの解説をいただいた。



質問の多くはしっかりと把握していなければ答えに詰まるような内容で、アセスメントを実施する能力を高めなければならぬことが分かった。

アセスメント23項目がよく把握されていることで、計画書がスムーズに作れること。利用者が計画書を読み返すことは余りない現状でも、今後は介護事業経験者やパソコンのできる団塊世代の方が利用者側にとつことが増えていくため、より精度の高い計画書が重要となること。これからは計画書は所内で検討して完成させていくことが必要。など、私たちケアマネジャーに求められるものが、より高度になっていくことを認識づけていただいた。

計画書第3表を見るとアセスメントがどの程度出来ているかが分かるのお話もあり、緊張感をもって今後のケアプラン作成業務を行うことができると思う。

平成21年度 第3回 施設介護支援専門員研修会

「脳トレをやってみよう」「伝達技法を学ぼう」

開催日時 平成21年12月5日(土) 13時30分～16時30分
開催場所 ナーシングヴィラ与野デイサービス

今回は、施設ケアマネ研修部会の役員、深見哲氏・黒川康子氏の両名が研修を担当した。施設従事者であれば非会員でも参加可とし、且つ、会員であれば居宅のケアマネジャーも参加できるオープン形式として開催。17名(会員13名・非会員4名)が参加した。

深見氏からは、近年デイサービスなどでも導入されている「脳トレ」について、学習療法の基礎知識を中心に解説。「読み・書き・計算」が、脳の司令塔であり人間の心、そのものであるといえる前頭前野の機能を改善することを説明。介護予防教室などで行なわれている方法を実際に体験した。「いつもの体操やレクリエーションでやっている動きが前頭葉を刺激していることを改めて感じた」「今後も取り入れてレク活動などに活かしたい」「自分自身もやらなければ」などの感想が聞かれた。

今回は1名の入会者があった。また、大変嬉しいことに、研修の企画・運営に参加を希望される方があったことを報告する。



黒川氏からは、コミュニケーションの伝達技法について演習を行った。講師が図形を言葉のみで伝え、「さらによくわかるように伝えるためにはどうしたらよいのか」をグループで検討した。その内容に従い、再度講師が言葉で図形を説明した。普段から、利用者・

平成21年度 第4回 施設介護支援専門員研修会

「ケアプランを振り返る」

開催日時 平成22年2月27日(土) 13時30分～16時30分
開催場所 介護老人保健施設尚和園アンシヤンテ(緑区)

本年度も、神奈川県立保健福祉大学の峯尾武巳先生を講師にお迎えした。研修会を開催した。施設従事者であれば非会員でも参加可能なオープン形式として実施し、25名の参加があった。

講義と演習(グループワーク、「仕事の仕方」についてのブレインストーミング、事例を元にして施設ケアマネ役、介護スタッフ役とペアになったのロールプレイ)を通じて、介護保険施設に従事するケアマネジャーの役割・仕事の仕方について学習した。

介護保険施設のケアマネジャーは、相談員業務や介護業務との兼任、あるいは専任など、施設ごとに様々な形態で勤務している。そのため、一見、役割が不明瞭であるが「ケアプランを通して職員のケアの方法を提案する、即ち、施設内における人材育成の役割を担っている」と結論することができるとはいえない。

アンケートでは、「施設ケアマネの交流がとて少ないので、このような研修は他の施設の様子を聞いて参考にあります」「施設の中に同じ職種がないので試行錯誤の毎日。このような機会に情報交換ができて勉強になった」などの意見が多かった。また、「ケアプランの作成に限らず、スタッフとのかかわり方でいかにスタッフ



の主体性を伸ばしていけるか、というところが今後の課題」「(スタッフに)良いアドバイス、ケアの提案をしていくことがケアマネの役割だ、と自分意識付けていきたい」などの気づきを伺うことができた。

研修会終了後5名の入会希望があった。また、研修担当として運営に興味をもたれた方もあり、施設介護支援専門員研修が定着してきたことを実感した。

峯尾先生には、19、20年度と継続して講師をしていただき、既に恒例となった感がある。研修委員会では来年度も依頼したいと考えている。

ほのぼのさんぽ

ミッション インポッシポー！！

松本 幸司

春だねえ・・・っと感じる暖かい日があったり、冷たい雨がふったり、突風が凄まじかったりして落ち着かない日々。気温に合わせて着るものを変える事なく、とりあえず冬の格好で過ごしていると、こうして「気持ち」が老けていくのかも・・・っと春なのに落ち葉的な考えに。そんな感傷を若葉的な「ガキンチョ1号&2号」の嵐が吹き飛ばしてくれている・・・そんなある日の事。

今日は、カミさんが仕事なので男3人で過ごす日。男の子守の3種の神器「お菓子」「DVD」「マ○ク」を駆使して、なんとか乗り切ろうと仕事以上に気合をいれた。すると突然、「ガキンチョ1号」が「イチゴの家に行って、たくさん食べる！」と言い始めた。というわけで、「マ○」より健康的という正義の名のもとに「内緒でイチゴ狩りミッション」がスタートした。もちろん？ミッション費用は家計から・・・。

最近のイチゴ狩りは高設の所が増えたので楽チン！高齢者だけでなく、子連れと腰にも優しい！！普段

は野菜を食べなくて怒られている「ガキンチョ1号」が次々とイチゴを頬張る。「ガキンチョ2号」も合計4本の歯でイチゴをたくさん食べている。

帰宅後、「ガキンチョ1号」には「ママには内緒！」と指きりし、「ガキンチョ2号」の赤く汚れた服を洗濯して証拠隠滅完了！夕飯の準備と部屋の掃除を終わらせて、ご機嫌取り準備も完了！！まさにミッション コンプリートと思ったが・・・

「ガキンチョ1号」はカミさん帰宅後、開口一番に「イチゴのおうちに行ってきたあ！」そして、「ガキンチョ2号」のウ○チは、あきらかにイチゴの色・・・。

ミッション失敗の代償として、旦那の小遣いで回転寿司に行くことになった↓↓↓

お～い！「ガキンチョ1号&2号」！！次のミッションは成功させようなあ！！

※世の中の子守をする旦那さん・・・頑張りましょう！
※主婦の皆様・・・すいません。。

あとがき

平成22年度通常総会及び全体研修（講演）開催のご案内

日時 平成22年5月29日（土） 受付 13時15分

場所 さいたま市文化センター 4階 鳳翔の間（多目的ホール） さいたま市南区根岸1-7-1 TEL 048-866-3171

◎通常総会 13時45分～14時50分

◎全体研修会 15時00分～16時30分

講師 伊奈病院 整形外科部長 石橋 英明 氏

演題 「運動器を知る・守る・きたえることの重要性」

～高齢者から働く人まで。ひざ・こし・ほねの健康のために～

事務局より

会員の住所・事業所等登録事項に変更があった場合や入会・退会希望の場合は事務局までご連絡ください。

さいたま市介護支援専門員協会 事務局 野崎・西間木

（財）さいたま市在宅ケアサービス公社内

電話番号 048-645-7470

FAX 048-645-7500

リニューアルしたので見てくださ～い！！

ホームページ

<http://www.saitamashi-keamane.jp>